

銘柄紹介

ラクス [3923・100 株] 12月9日 東証マザーズ市場上場

2015年11月18日(水)
更新: 11時10分
株式会社フィスコ

クラウド事業とIT人材派遣が主力

投資スタンスと初値メド

ブックビルディング参加	——
初値投資	——
初値メド	——

大企業で使用されるようなシステムを中小企業向けにクラウド方式で提供するクラウド事業、ITエンジニアに特化した正社員派遣サービスを提供するIT人材事業を行っている。

市場の注目度	★★★
想定仮条件レンジ	1000円～1100円
予想PER	31.9倍(連)～35.1倍(連)
予想トレーディングレンジ 期間: 上場後1年を想定	1400円～3000円
予想PER	44.7倍(連)～95.8倍(連)

※★印は5段階評価

中小企業向けシステム提供企業のIPOは目新しさに欠け、想定仮条件水準の今期予想PERにも強い割安感を感じられないが、市場からの調達金額が5億円前後にとどまる小規模案件であり、需給妙味は強まりやすいと考えられる。日本郵政グループ3社の上場が成功したことや、株式市場に先高期待が高まっていることなども支援材料となりそうだ。

日程

仮条件提示	11月18日
ブックビルディング期間	11月20日～11月27日
公開価格決定	11月30日
申込期間	12月1日～12月4日
払込日	12月8日
上場日	12月9日

8月以降、公開規模10億円未満のマザーズIPO案件は、軒並み、公開価格を20%超上回る初値をつけている。株主構成上位を見ても、ほぼ役職員・関係者とみられる株主が多くなっており、目先は需給面の懸念は小さいと考えられる。

類似会社 3社

平均PER	91.9倍	→	2,879円
テラスカイ<3915>	220.6倍(連)	→	6,911円
エイジア<2352>	20.0倍(連)	→	627円
スマバリュ<9417>	35.0倍	→	1,097円

(PERは11月17日終値の会社側予想ベース)

銘柄紹介

ラクス [3923・100 株] 12月9日 東証マザーズ市場上場

2015年11月18日(水)

更新: 11時10分

株式会社フィスコ



新規公開株レポート

業績推移 (百万円・%)						
決算期	売上高	伸び率	経常利益	伸び率	純利益	伸び率
2012/3	1,953	—	257	—	137	—
2013/3	2,381	21.9%	474	84.3%	289	111.4%
2014/3	2,804	17.8%	551	16.3%	111	-61.4%
2015/3	3,410	21.6%	555	0.7%	354	217.1%
2016/3 予	-	—	-	—	-	—

連結業績推移 (百万円・%)						
決算期	売上高	伸び率	経常利益	伸び率	純利益	伸び率
2014/3	2,805	—	424	—	200	—
2015/3	3,413	21.7%	447	5.6%	378	88.6%
2016/3 予	4,014	17.6%	561	25.2%	353	-6.8%
2015/9 2Q	1,943	—	382	—	254	—
予想 EPS/配当	単独:-円 連結:31.33円(上場時発行済株式数で試算)/3.55円					

業績コメント

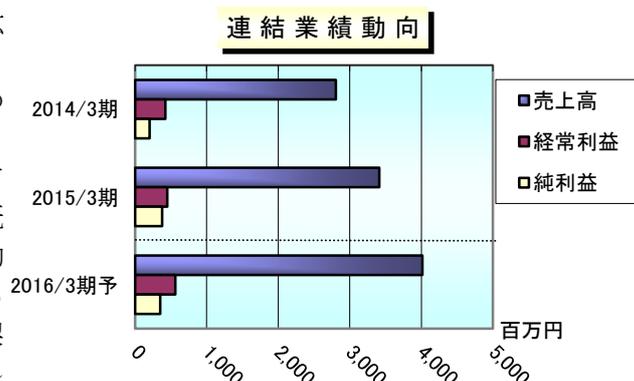
2016年3月期の業績は、売上高が前期比17.6%増の40.1億円、経常利益が同25.2%増の5.6億円と増収増益の見通しとなっている。

足元の情報通信サービス市場では、企業のクラウドサービス利用の増加及びインターネットサービスの多様化による旺盛なITエンジニア需要を背景に、引き続き成長を続けている。

このような経営環境の中、同社グループは持続的な利益成長を目指し、売上高の拡大に取り組んできた。具体的には、インターネット媒体への広告掲載や展示会への出展を通じて認知度の向上に努めるとともに、既存サービスの機能改善に注力してきた。クラウド事業は営業人員の増強、既存サービスのバージョンアップを継続的に行ったことにより、主力サービスである「メールディーラー」・「配信メール」の契約数が順調に伸長した。また、特に注力し

ている「楽楽精算」については、契約数、売上高ともに大きく伸長した。IT人材事業は、企業収益の改善に伴うIT投資の増加や、慢性的なITエンジニア不足を背景に稼働人員数が増加した。

なお、通期計画に対する第2四半期末時点における進捗率は、売上高19.4億円で48.4%、経常利益3.8億円で68.0%となっている。



銘柄紹介

ラクス [3923・100 株] 12月9日 東証マザーズ市場上場

2015年11月18日(水)
更新: 11時10分
株式会社フィスコ



新規公開株レポート

基本概要	
所在地	大阪府大阪市北区梅田三丁目
代表者名(生年月日)	代表取締役社長 中村 崇則(昭和48年1月27日生)
設立	平成12年11月1日
資本金	1億4985万円(平成27年11月4日現在)
従業員数	新規上場会社349人 連結会社377人 (平成27年9月30日現在)
発行済株式数(上場時)	11,266,000株(予定)
公開株式数	公募400,000株 売出-株 (オーバーアロットメントによる売出60,000株)
想定公開規模	4.6億円~5.1億円(OA含む)
事業内容	問合せメール共有・一元管理システム等のクラウド方式による開発・販売、ITエンジニアの派遣

売上高構成比率 (2015/3期実績)			
品目	金額		比率
クラウド事業	2,237	百万円	65.6 %
IT人材事業	1,175	百万円	34.4 %
合計	3,413	百万円	100.0 %

幹事証券団 (予定)			
	証券会社名	引受株数	引受シェア
主幹事証券	みずほ証券(株)	未定	未定
幹事証券	野村證券(株)	未定	未定
幹事証券	(株)SBI証券	未定	未定

銘柄紹介

ラクス [3923・100 株] 12月9日 東証マザーズ市場上場

2015年11月18日(水)
更新: 11時10分
株式会社フィスコ

大株主上位 10 位			
順位	株主名	保有株数	保有シェア
1	中村 崇則	4,140,000 株	38.10 %
2	浅野 史彦	870,000 株	8.01 %
3	松嶋 祥文	852,000 株	7.84 %
4	井上 英輔	740,000 株	6.81 %
5	ラクス従業員持株会	716,000 株	6.59 %
6	本松 慎一郎	580,000 株	5.34 %
7	小川 典嗣	270,000 株	2.48 %
8	野島 俊宏	260,000 株	2.39 %
9	株式会社セプテーニ	240,000 株	2.21 %
10	公手 真之	230,000 株	2.12 %
合計		8,898,000 株	81.89 %

その他情報		
手取金の使途	東京本社オフィスの移転に伴う差入保証金の差入及び設備資金として、人材採用費用として、成長サービスである「楽楽精算」の市場シェア拡大を目的とした広告宣伝費として、業容拡大に伴うサーバー等の増強費用として充当し、残額はクラウド事業における「楽楽精算」以外のサービスの広告宣伝費に充当する予定。	
関係会社	RAKUS Vietnam Co., Ltd. (連結子会社) クラウド事業	
VC売却可能分(推定)	-社 -株(売出し・保有期間などの制限があるもの以外)	
直近有償第三者割当	年月日	-
	割当先	-
	発行価格	-

ラクス [3923・100 株]
12月9日 東証マザーズ市場上場

2015年11月18日(水)

更新: 11時10分

株式会社フィスコ

銘柄紹介

同社グループは、同社及び連結子会社1社により構成される。大企業で使用されるようなシステムを簡単に使用できるクラウドサービス等を中小企業に提供する。具体的には、主に中小企業向けシステムをクラウド方式で提供するクラウド事業と、Java、Linux/Unixを中心としたWebシステムの開発やインフラ業務に強みを持つITエンジニアを派遣するIT人材事業を行っている。

(1) クラウド事業

交通費・旅費・経費精算システム「楽楽精算」、問い合わせメール共有・一元管理システム「メールディーラー」、メール配信システム「配信メール」、Webデータベース「働くDB」等のクラウド方式によるシステムを開発・販売・保守している。

コンピューターが得意ではない顧客でもマニュアルを読むことなく直感的に扱えるサービスを理想として、システム開発、Webデザイン、マーケティング、カスタマーサポートサービスを一貫してグループ内で行える体制を整えている。また、営業担当者やカスタマーサポート担当者が直接顧客のご要望を収集し、開発者にフィードバックすることにより、操作性の改善や機能追加等のバージョンアップを繰り返し、顧客目線に立った使いやすいサービスを提供している。

主なクラウドサービスは次のとおり。

(1A) 交通費・旅費・経費精算システム「楽楽精算」

「楽楽精算」は、「交通費・旅費・経費」等の「申請・承認・精算・仕訳」をクラウド方式で行うシステムである。申請に使用したデータをそのまま流用して精算でき、書類の作成・押印の手間を省ける。また、仕訳データや振込データの自動作成機能

により、経理部門の仕訳登録作業及び振込登録作業の軽減が可能となっている。

(1B) 問い合わせメール共有・一元管理システム「メールディーラー」

「メールディーラー」は、同社独自開発のメールサポート用システムであり、クラウド方式で販売している。システム上でのメールの一元管理・共有を行うことで、各ユーザはWebブラウザ上からアクセスしてメール対応を行う。

(1C) メール配信システム「配信メール」

「配信メール」は、低価格ながらメールマーケティング及びその効果測定に必要な十分な機能を備えた、クラウド方式で提供するメール配信システムである。クリックカウント、開封チェック、レポートのグラフ表示等、マーケティングの効果測定に不可欠な分析機能を備えている。

(1D) Webデータベース「働くDB」

「働くDB」は、幅広い用途に活用することができる、クラウド方式のWebデータベースである。表計算ソフト等と比べ、各種データの共有管理が容易となっている。

(2) IT人材事業

ITエンジニアに特化した正社員派遣サービスを提供している。特長は、創業時に事業としていたITエンジニアスクールの人材育成ノウハウを活用し、体系的かつ継続的にITエンジニアの品質を向上させることである。また、営業担当、育成担当が定期的に開催する社内研修やイベント等を通じて、ITエンジニアとのコミュニケーションを密にとることにより、個々の特性を理解し、顧客企業のニーズに対して最適な提案を行っている。この仕組みにより、同社サービスの高付加価値化と稼働率の向上を実現している。

ラクス [3923・100 株] 12月9日 東証マザーズ市場上場

2015年11月18日(水)
更新: 11時10分
株式会社フィスコ



投資のポイント

市場からの調達金額が5億円前後にとどまる小規模案件であり、需給妙味は強まりやすいと考えられる。日本郵政グループ3社の上場が成功したこと、株式市場に先高期待が高まっていることなども支援材料となりそうだ。一方、中小企業向けシステム提供企業のIPOは目新しさに欠け、想定仮条件水準の今期予想PERにも強い割安感を感じられず、国内外の機関投資家からの買いは入りにくいだろう。あくまで、短期資金中心の相場展開を想定。同社上場の翌週にIPOラッシュを迎えることもあり、換金売り圧力などは早い段階で強まりやすくなるとも考えられる。

同社は、大企業で使用されるようなシステムを中小企業向けにクラウド方式で提供するクラウド事業と、ITエンジニアに特化した正社員派遣サービスを提供するIT人材事業を行っている。IT人材事業は売上構成比の3分の1を占めており、今後も規制緩和などの動きが期待される。人材関連銘柄としての位置づけが高まる可能性などもある。

業績面について、2016年3月期の業績は、売上高が前期比17.6%増の40.1億円、経常利益が同25.2%増の5.6億円と増収増益の見通しとなっている。主力サービスである「楽楽精算」「メールディーラー」「配配メール」などが総じて順調なほか、IT人材事業も慢性的なITエンジニア不足を背景に稼働人員数が増加している。通期計画に対する経常利益進捗率は68.0%で目先の業績不安は乏しい。

8月以降、公開規模10億円未満のマザ

ーズIPO案件では、パルマ<3461>、アクアライン<6173>、ベステラ<1433>、ピクスタ<3416>、パートナーエージェント<6181>と軒並み、公開価格を20%超上回る初値を示現している。株主構成上位を見ても、ほぼ役職員・関係者とみられる株主が多くなっており、目先は需給面の懸念は小さいと考えられる。同社上場日の一両日中は他にIPOもなく、資金分散懸念なども乏しいだろう。11/19上場予定のロゼッタ<6182>など、小型案件の人気化が鮮明化すれば、一段と初値パフォーマンスは向上する余地もあろう。

銘柄紹介

ラクス [3923・100 株] 12月9日 東証マザーズ市場上場

2015年11月18日(水)
更新: 11時10分
株式会社フィスコ

投資スタンスの見方

Aggressive (アグレッシブ)	積極的参加	投資収益率 100%以上が見込まれる案件
Active (アクティブ)	やや積極的参加	投資収益率 50%以上が見込まれる案件
Passive+ (パッシブ・プラス)	やや消極的参加	投資収益率 20~50%未満が見込まれる案件
Passive- (パッシブ・マイナス)	消極的参加	投資収益率 0~20%未満であり、マイナスの可能性のある案件
Negative (ネガティブ)	参加見送り	投資収益率がマイナスになる可能性が予想される案件

《 重要事項(ディスクレマー) 》

株式会社フィスコ(以下[フィスコ]という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

“JASDAQ INDEX”の指数値及び商標は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

掲載される情報はフィスコが信頼できると判断した情報源をもとにフィスコが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、フィスコは保証を行っておらず、また、いかなる責任を持つものではありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

フィスコが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、投資信託、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少する事もあり、価値を失う場合があります。

本資料は、本資料により投資された資金がその価値を維持または増大する事を保証するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

フィスコおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ



■ 本資料のご留意事項

本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料は、SBI証券が、株式会社フィスコが信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。本資料の著作権、知的所有権等一切の権利は株式会社フィスコに帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

■ 手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券 WEB サイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

■ 国内株式取引のリスク情報について

・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

■ 留意点

・SBI証券が保有する株式等や主幹事担当会社の重要な開示事項（利益相反関係等）についてはSBI証券WEBサイト（http://search.sbisec.co.jp/v2/popwin/info/home/pop690_kaiji.html）をご確認ください。または、カスタマーサービスセンター（0120-104-214（携帯電話・PHSからは03-5562-7530））までお問い合わせください。
・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の支店までお問い合わせください。
・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書は当該銘柄の取扱証券会社のホームページ等で入手いただけます。

商号等：株式会社 SBI証券 金融商品取引業者
登録番号：関東財務局長（金商）第44号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会